

**「伝える、結ぶ、広がる“茨城のおまつり”」の決定について**

おまつりは、地域の祝い事でありコミュニティや賑わいの形成にも重要な役割を果たしていますが、少子高齢化や人口減少による地域の衰退、コロナ禍の影響などにより、その継承が困難になることが危惧されています。

そのため、本県が誇る、歴史的・文化的価値を有する数多くのおまつりの中から、一定以上の規模で開催され、地域振興に寄与するモデルとなるものを選定し、補助金を交付して支援することにより、後世に継承していくこととしましたので、お知らせいたします。

なお、文化財保護を目的としたおまつりへの補助制度としては、全国で唯一となります。

## 記

## 1 選定した“茨城のおまつり”

名称	構成文化財	文化財の歴史	入込客数*	開催状況
日立さくらまつり (日立市)	日立風流物（国指定、国選択） 日立のささら（県指定）	江戸中期	61.9万人	毎年（4月）
石岡のおまつり (石岡市)	石岡ばやし（県指定） 富田のささら（県指定）	江戸中期	50.3万人	毎年（9月）
常陸大津の御船祭 (北茨城市)	常陸大津の御船祭（国指定）	江戸中期	20.0万人	5年に1回 (2024年5月)
潮来祇園祭禮 (潮来市)	潮来ばやし（県指定）	江戸中期	13.0万人	毎年（8月）
みなと八朔まつり (ひたちなか市)	那珂湊の獅子とみろく（国選択）	江戸中期	6.0万人	2年に1回 (2025年8月)

※ 入込客数は、コロナ禍前の2019年観光客動態調査による。

## 2 選定について

## (1) 対象

無形民俗文化財を構成要素とする「おまつり」のうち、歴史的・文化的価値、規模などにより、茨城県民俗文化財活性化検討委員会（有識者委員会）が選定した5件

## (2) 選定基準

- ・県内に伝承され、地域社会あるいは保存会を単位に行われている祭礼行事を含むものであること
- ・近世以前からの歴史を有し、現在まで継承されているものであること
- ・構成要素に国・県指定または国選択の無形民俗文化財を含むものであること
- ・一定（約1万人以上）の入込客数があり、地域振興に寄与するものであること

## (3) 有識者委員会（2024年4月16日現在）

- 委員長 徳丸 亜木 筑波大学人文社会系教授  
委員 串田 紀代美 実践女子大学文学部准教授  
委員 立石 尚之 古河歴史博物館学芸員  
委員 海老原 二良 一般社団法人茨城県観光物産協会常務理事  
委員 田村 敬 株式会社フジテレビジョン常務取締役

(開催状況)

第1回：2024年3月29日 第2回：2024年4月16日

## 3 補助額

500万円（上限）/件

## 4 今後のスケジュール

4月下旬頃、補助金交付申請開始

**【問合せ先】** 教育庁総務企画部文化課  
有形・無形文化財担当 根本  
電話 029-301-5449